

## 評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年11月25日

事業所番号	2779500475	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	社会福祉法人 野のはな	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	グループホーム 野のはな	評価調査日	平成 21 年 11 月 20 日
所在地	大阪府阪南市和泉鳥取950番7 電話 072-471-8880	評価確定日	平成 21 年 11 月 28 日

【情報提供票より】 (平成21年11月10日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成15年4月1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数 9人
職員数	11 常勤 5人 非常勤 6人 常勤換算 5.2人

## (2) 建物概要

建物の構造	鉄骨造り 3階建 3階部分
-------	------------------

## (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (1月)	35,000円	その他の経費	15,000円
敷金	<input type="checkbox"/> 無 ( )		
保証金の有無	<input type="checkbox"/> 有 300,000円 償却 有		
(入居一時金を含む)	返却 1年以内20万円 2年以内10万円 2年以降なし		
食材料費	朝食	円	昼食
	夕食	円	おやつ
	または1日当たり 1,500円		

## (4) 利用者の概要 (11月10日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	0名	要介護2	0名		
要介護3	3名	要介護4	0名		
要介護5	6名	要支援2	0名		
年齢	平均 82才	最低	70才	最高	96歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	大阪リハビリテーション病院 中村クリニック貝塚分院 まさと歯科
---------	------------------------------------

## 【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

ホームは農村地域に住宅が点在する長閑な所にある新築洋館の3階。1階はデイサービスとなっており、両施設は相互に何かと助け合っている。この1年は管理者が2名変更というアクシデントがあったが、職員は設立以来の方々も含め、5年以上の介護経験者が9名、2年以上が2名の計11名で、全員が一致協力し、温かさと配慮のある介護を進め、利用者は楽しい日々を過ごしている

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	地元の役員の方々には運営推進会議に出席して頂いており、法人組織を通じての地元交流も行われている。管理者が2名退所したので運営推進会議の開催が不定期となったが、次年度に期待したい。又、職員のストレス解消には組織として対処をしているが、地域の同業者との交流については、今年度の課題としている。利用者の個人資料は別室で管理、保管している
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	毎年の外部評価公表後に職員の定例会議の席上で、評価結果につき、反省と今後の検討を行って来ており、今回も、前年の結果の積み重ねを毎月検討しながら作成している
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、管理者の退所という波乱があって定期的な開催が出来なかった。運営推進会議では、ご出席して頂いている地区の各役員の方々のご配慮で、情報交流は引き続き頂いており、介護に活かされて来ている。特に、当法人が地域に密着しており、従来からホームとしての活動には、地域の皆さん方から交流を頂いているので、今後も期待したい
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	ホーム開設以来6年目で、職員も開設以来のベテラン9名が中心となっており、利用者は職員の注意深く、日々の体調に合わせた介護で過ごしている。これらは、ご家族アンケートの集計結果によっても、殆どの方々より、ご満足を頂いていることで確かめることができる
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	利用者も開設時からの方が多くなり、又、症状が進み、日常生活での活動も少なくなって来ている関係で、散歩の途中で地域の皆さん方との交流も難しくなっているのが現状である。しかし、1階のデイサービスに来訪の方々との交流は適宜に行われている

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
<b>1 理念と共有</b>					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念として「いつの日も自分らしく生き生きと」を掲げている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎週の月曜日、午後に定例会議を開き、確認をすると共に、理念の実践に取り組んでいる		
<b>2 地域との支えあい</b>					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	運営推進会議にご出席の地区役員より、情報を頂いて行事等に参加し、出席をさせて頂いている		
<b>3 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義については、前回以前からも職員はよく理解し、職員間での検討と改善に取り組んでいる		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議にご出席の地区役員の方々より、情報を頂いて行事等に参加をさせて頂いている。地区食事会にも参加して、ご意見等を活かしている	○	2ヶ月毎の開催に向けて努力して欲しい
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	提出書類は成るべく窓口まで持参して提出することを心がけ、情報の交流をしている		
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	毎月ご家族へは文書を発送し、その際、短信を添えている。電話での詳細連絡も定期的に行っている		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に出席のご家族代表から、ご意見等も頂いている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	○	職員人事に格別の配慮を続けて欲しい

## 5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	今後の検討課題として欲しい

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

## 1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
--	----	----	--	--	--

## 2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		
--	----	----	--	--	--

## III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

## 1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		
--	----	----	--	--	--

## 2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		
--	----	----	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	職員との日々の介護記録を基に、本人、ご家族、その他、関係者との話し合いで、より良い、新計画を作成している		
<b>3 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所として可能な限りの支援を行っている		
<b>4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	毎週、掛かりつけ医師の往診を頂いている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合には、主治医にご家族との話し合いして頂いており、職員も情報を共有している		
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1 その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報とは別の扱いとしている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るだけ、ご本人の意向に沿うように支援している		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は食事を楽しみとされている、食事前後の手伝いについては出来る方にして頂いているが、少しずつ無理となって来ている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	○ 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している		利用者ご本人の意向を出来るだけ汲みとって対処している

## (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている		入居暦が長くなり、能力が少しずつ低下して来ているが、本人の出来る能力を活かすよう支援している
	25	61	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している		出来るだけ希望に従っているが、次第に能力的に無理になってきている

## (4) 安心と安全を支える支援

	26	66	○ 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる		入口ドアの鍵は、職員の見守り対応で、掛けないようにしている
	27	71	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている		事業所としての緊急対応のマニュアルを、職員に周知徹底している。目下、隣り棟の管理室との連携について話し合いをしている

## (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている		管理栄養士により、食事、水分摂取量は管理、支援している
--	----	----	--	--	-----------------------------

## 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

## (1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている		新築の建物でもあり、明るく、季節感の飾りも、適宜に用意している
	30	83	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている		本人、ご家族によって自由に過ごし易く工夫して、過ごしている